





















京刑乙発第334号
令和4年4月19日

緊急報告第6号様式

あ て 先	矯 正 局 長 殿 大阪矯正管区長 殿	発 信 人	京都刑務所長
自殺事故速報			
<p>1 事案発生日時及び概要 令和4年4月13日（水）午後零時51分頃、（単独室）において、休養中であつた受刑者（以下「事故者」という。）が 下衣の両足首部分を結束して輪状にし、同結束部分を同室壁面に設置された保管私物箱の本体と扉の間に挟み込んだ上、同輪の中に首を入れ、 い首しているところを巡回中の職員が発見し、直ちに同職員が同室を開扉して同輪から事故者の首を抜いて寝かせた上、非常ベル通報した。その後、同職員及び同通報により駆け付けた職員が救命措置を講じつつ、同時55分、119番通報し、同日午後1時17分、病院に救急搬送したが、同月14日（木）午前零時35分、同病院医師により死亡が確認された。 なお、最終生存確認は、同月13日（水）午後零時38分頃であり、同職員が、同室内で布団に仰がしている事故者を確認している。</p> <p>2 事故者名等</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 身 分 受刑者(2) 氏 名 (3) 生年月日 (4) 罪名又は事件名 (5) 刑名、刑期 (6) 刑の起算日 (7) 刑の終了日 (8) 入所度数 (9) 制限区分及び優遇区分 (10) 所内の行状の良否 (11) 住 所 (12) 国 籍  <p>3 推定事故原因 現在調査中である。</p> <p>4 事故に対し採った措置</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 同職員及び同通報により駆け付けた職員が救命措置を講じつつ、同時55分、			

119番通報した上、事故者を[]とした。

(2) 同日午後1時17分、[]病院に救急搬送した。

なお、同病院搬送後の経過は次のとおりである。

ア 同日午後1時19分、[]に入室する。

イ 同時57分、入院が決定する。

ウ 同日午後3時55分、[]を装着する。

エ 同日午後4時15分、[]に移動する。

オ 同月14日(木)午前零時35分、同病院医師により死亡が確認され、死因を「低酸素脳症」とされた。

(3) 同時46分、京都地方検察庁に死亡通報した。

(4) 同時48分、京都市山科警察署に死亡通報した。

(5) []行政検視を開始し、[]同検視を終了した。

(6) 同日午前3時20分、事故者の遺体を同病院から当所に搬送した。

(7) 同日午後5時31分、[]した。

(8) 同日午後7時19分、本件について、京都府司法記者クラブ幹事社に公表した。

なお、同月18日(月)午前8時30分現在までに、報道機関6社(読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、京都新聞、NHK京都、関西テレビ)からの電話取材があり、読売新聞及び京都新聞において記事の掲載が認められた。

(9) []

5 その他

(1) 事故者の居室検査を実施したところ、[]

(2) 自殺危険性判定において、[]としていた。

(3) 事故者は、[]に当所に入所した後、[]

(4) []

(5) 本日の開室人員は885名である。